

令和5年度第2回大船渡市スポーツ推進審議会

日時 令和6年3月21日(木) 午後2時～午後3時30分
場所 大船渡市役所 大会議室
出席者 大船渡市スポーツ推進審議会委員 6人
新沼良治会長、東芳江副会長、伊勢良行委員、熊谷侑希委員、栗村安弘委員、
渡邊千鶴委員
大船渡市
協働まちづくり部長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐、スポーツ推進係

〔会議内容〕

1 開 会

2 挨拶（新沼良治会長）

年度末のご多用の中、ご参会いただき感謝申し上げます。本会はスポーツを通じて心身ともに健康で豊かな生活の実現を図るという基本理念のもと、市ではいろいろな施策を講じている。本日は今年度の総括と次年度の事業計画についての議題である。ご審議をよろしく願います。

3 協 議

第1号 令和5年度スポーツ・レクリエーション事業の実施状況について
事務局より、資料に基づき説明した。

〈意見・質疑応答〉

- ・（新沼良治会長）2ページの〈取組内容〉ファミリーウォーキングの参加人数が82人と多いように感じるがその様子はどうだったのか。
→（生涯学習課長）想定どおりである。
- ・（新沼良治会長）2ページの〈取組内容〉「功労賞（2個人調整中）」とあるが、先日の新聞に掲載されたのではないか。
→（生涯学習課長）資料作成時点での表現としている。
- ・（伊勢良行委員）3ページの〈総括及び今後の方向性〉「スポーツエールカンパニーへの申請呼び掛け、認定事業所の事例紹介、申請相談の場」を具体的に教えてほしい。
→（生涯学習課長）課題として掲げている働き手世代を中心としたスポーツ機会の増加の課題解決に向けて、呼び掛けに取り組むというものである。スポーツ庁認定のスポーツエールカンパニーとして取り組んでいる大船渡市の事業所は1社であり、引き続き呼び掛けは進めていく。併せて相談の場としては、生涯学習課、スポーツ協会となる。
- ・（渡邊千鶴委員）取り組んでいる会社は、どんな取組を行っているのか。
→（生涯学習課長）認定事業所の具体的な取組については、今後の情報収集に努めたい。
- ・（熊谷侑希委員）実は私は県のトレーナー資格の関係で行ったことがある。その際には、社員が集まって運動教室をされたり、腰痛予防運動を指導されたり、高血圧の勉強会とかも受けていたようである。
- ・（新沼良治会長）普及拡大には、事業者の規模、社員数を確認して、直接職員が足を運ぶ方法も一つ考えていただきたい。

- ・ (渡邊千鶴委員) 広めるにあたって、釜石市では、体操教室に行ったり、健康診断を受けると、スタンプを集めることができ、収集数によって何かと交換できるということで健康診断を受けに行っているというような話も聞いたことがあって、「大船渡さんぽ」を活用するなりして、例えば運動教室に行ったら何ポイントというポイント制を加えてみれば、健康診断に行く人も増えるのではないかと考える。買い物だけではなく、運動の際にもそういうポイント制があってもよいのではないかと考える。
- ・ (伊勢良行委員) 結局、スポーツエールカンパニーというのは、会社での取組ということなので、従業員にいくら働きかけをしても効果、成果は出ないので、経営者を対象に呼び掛け、働きかけを行っていくべきである。
- (生涯学習課長) そのとおりなので、商工会議所とも相談しながら、経営者を対象にPRしていくことと、ポイント制については、実現に向けて少しずつ内部検討を進めていく。
- ・ (新沼良治会長) できること、できないことがあるので、できることからお願いします。
- (協働まちづくり部長) ファミリーウォーキングの補足で、この日は天候が悪く、降ったり止んだりしている中、82人の方に参加していただいた。申込者はもっと多かったはずで、農協からは、参加者にお米や入浴券のご協力をいただいた。参加者からは好評で、天候に恵まれると、もっと幅広い世代に参加していただけるイベントだなど思っているの、充実させていきたい。
- ・ (新沼良治会長) 3ページのスポーツ施設等の延べ利用者総数で、令和4年度 236,994人、令和5年度は12月末時点で172,881人となっていて、利用人数が少なく感じるが、数値の詳細を教えてください。
- (生涯学習課長) 令和4年の数値は、コロナワクチン集団接種者も利用人数としてカウントしているもので、純粋なスポーツでの利用者数の1.5倍以上の数値となっている。
- ・ (熊谷侑希委員) 5ページのスポーツ施設の利用に関して、熱中症警戒アラートの関係で、中止、キャンセルとなったものはあるか。
- (生涯学習課長) 正確なキャンセル数は把握していない。アラートが出た段階では、運動を控えるようにスポーツ協会、スポ少団体に周知を図っているので、アラート中には、おそらく活動時間の短縮や活動中止に取り組んだと考えられる。これとは、直接的な関係はないが、公民館事業でもアラート期間中は、高齢者を対象とした事業を実施しないように取り組んでいるので、スポーツの活動についても、エアコン等の空調設備が完備されているところであれば活動してもよいという意見はあるが、なるべく熱中症予防のために活動を控えるようにお願いをしているところである。
- ・ (新沼良治会長) 6ページのパーフェクトナイターの中身を教えてください。
- (生涯学習課長) 事業報告書の内容を説明。(審議会第1回11月に配布済)
- ・ (伊勢良行委員) 大船渡新春ロードレース大会、1つのスポーツの大会でこれだけの人数が集まる大会は、大船渡では一番大きい大会だと思っている。せっかく集まっていたのだが、他の報道されるマラソンを見ると沿道の応援客がたくさんいて、賑わいがすごい。何十年か前に、佐々木七恵さんとか瀬古さんがいらっしやって走った時には、すごい人数の応援客であった。いろいろな施策はあるだろうけれども、何とか参加者数、応援客をもっと集めるとか、市民の方々が集まって応援するとかとなれば、ランナーも走りがいがあるだろうし、そういう方向に繋げられるものがあつたらいいなとも思っているがいかがなものか。
- (生涯学習課長) 賑わいの創出にどのように取り組むか課題として捉えている。沿道で応援する客がいなくて、やはり沿道に応援客がいる風景のほうがよいので、今後も模

索しながら、参加者増への取組と併せて、大会の盛り上がりについても、検討模索を進めていく。委員の皆さんからの提案も願います。

（協働まちづくり部長）新聞等でご承知かと思うが、大船渡市のデジタル田園都市国家構想総合計画を2月に立てている。取組の中身が、今後の持続的なまちづくりのために、デジタル化の推進が大きな1つの目標である。さらに、その中に大船渡の認知度を高めて、魅力をアピールするシティプロモーションの推進も大きな目標で、協賛試合の方もスポーツの推進のほかに、シティプロモーションの推進ということで、財源の問題もあると思うが、どうにか続けていきたいと考える。アンケートをとると、朗希選手の活躍のおかげで、大船渡は朗希選手の出身だという認識が97%あったようなので、非常に高いということで、それを今後の物産販売や地元への集客にどうにか繋げていきたい。伊勢委員からお話のあったロードレース大会の参加者の増については、正にそのとおりで、こちらもちろシティプロモーションの一環として、どうにか参加者と来場者の増を図ってきたいということで、課内でも議論検討を深めている。市内に宿泊する方も多く、市内経済への波及効果も高いところで、シティプロモーションの推進も含めて、工夫をしていきたい。

- ・（東芳江委員）新春ロードレース大会 R5 目標値 1,700 人、R10 は 1,800 人の根拠は何か。中学のクラブ活動の地域移行の資料にあるように出生率が低下している中で、この大会への中学生の参加者は多いと感じるところではあるが、県内他の自治体と比較すると、集客への取組がまだまだ足りていない。もっともっと力を入れていくべきである。
- （生涯学習課長）同様の意見はいただいている、他の自治体ではマラソンのほかにも催し物があって、見に行くのも楽しいとの話も伺っている。金銭的な関係もあって、どこまで取り組めるかということもあるが、側面からの歓迎の仕方、本筋のマラソンの魅力の発信の仕方というのは、他の大会を参考にしながら、今後考えていきたい。目標値はスポーツ推進計画時の指標で、総合計画からの引用なので、現実的に生徒や競技人口の減少、出生率が低下する中で、目標値がこの人数でよいのかという議論はあるが、まずは目標として掲げているので、計画の変更と併せて現実的なものにするか、目標は高く据え置くか、今後検討していく。その中で、総合計画なりで示すものを引用するので、総合計画の見直しのタイミングで考慮していく。競技人口の減少については、正にそのとおりなので、シティプロモーションの中で、自治体独自の営業活動、魅力を発信して集客に繋げる方法に力を入れていきたい。
- ・（渡邊千鶴委員）ロードレース大会と二十歳のつどいは、毎年開催日が同日となるのか。
- （生涯学習課長）どちらの参加者からも3連休の中日が望ましいとの声があり、同日の開催としている。
- ・（東芳江委員）ニュースポーツと産業まつりも同日開催であったが、何か意図はあったのか。
- （生涯学習課長）産業まつり会場近隣で開催した3x3バスケットは賑わいの創出にはなったものと思っているが、ニュースポーツはスポーツ協会の企画であり、産業まつり会場からは離れた市民体育館での開催であったため、同日開催については、課題と捉えている。ただ、10月はスポーツのシーズンでもあることから、スポーツと産業まつりが重複してしまう形になることもご理解いただきたいし、できるだけ重複しないように今後の日程調整はスポーツ協会と連携調整を行っていく。
- ・（新沼良治会長）7ページの<課題>に近隣自治体との広域連携とあるが、何か考えていることはあるか。

→ (生涯学習課長) スポーツ合宿の誘致事業と併せて、定住自立圏域である住田町と連携をとりながら、事業を進めていく。ポートサイドバレーボール大会にあつては、陸前高田市のゆめアリーナを会場の1つとして使用するなどして、陸前高田市とも連携をしていく。

第2号 令和6年度スポーツ・レクリエーション事業関係補助金について
事務局より、資料に基づき説明した。

・ (新沼良治会長) スポーツ協会事業補助金は、各種大会開催費用関係に充てられているものか。

→ (生涯学習課長) 市がスポーツ協会にお願いしている事業に充てられている。例えば2ページの加盟団体活動支援事業、県民体選手派遣支援事業、そのほかの事業にも充てられている。

第3号 令和6年度スポーツ・レクリエーション事業計画(案)について
事務局より、資料に基づき説明した。

〈意見・質疑応答〉

・ (東芳江委員) B&G プールの解体跡地はどうか。

→ (生涯学習課長) 解体後は更地として、駐車場での利用を予定している。

・ (渡邊千鶴委員) 市民体育館のコートを分割する防球ネットの端のほうは短くて意味をなしていないが防球ネットの修繕はどうか。

→ (生涯学習課長) 今までに指定管理者からもそのような障害は聞いていない。ネットの経年も考えられることから、事象の把握に努める。

・ (栗村安弘委員) バスケットゴール修繕とあるが、収納時にバレーボールが引っ掛からないような仕様での改修にならないか。

→ (生涯学習課長) バスケットゴール修繕は、ゴールボードの傾きの矯正修繕であつて、伸縮する部分、バレーボールが引っ掛かる部分の仕様は変わらない予定である。バレーボールが引っ掛かった場合には、バスケットゴールの伸縮部分を伸長するなり、備え付けの長い棒のようなものを利用して、対応をお願いする。

・ (栗村安弘委員) 佐々木朗希選手の出身として、大船渡市出身と表記することは可能なことか。

→ (生涯学習課長) 生い立ちが両市にまたがるので、当市出身としても嘘にはならないが、両市の知名度が上がるように陸前高田市の立場も考慮の上、当市では大船渡高校出身としている。アスリート応援団事業については、むしろ陸前高田市とは、お互いに連携を図って盛り上げていきたい。

4 その他

事務局から、スポーツ推進計画とスポーツ施設整備基本計画の中間見直し(案)の公表時期や主要施設の詳細検討の状況について報告。

・ (生涯学習課長) 今後の人口減少や少子高齢化に伴うスポーツ人口の減少が予想されること、また厳しい財政事情等の課題が多く、スポーツ施設の整備については、その必要性を十分検討するとともに、多様化する市民ニーズに対応し、優先度を考慮しながら、進める必要があるので、詳細検討を要する施設については、今後の整備の在り方や必要性について、当初の予定よりも検討に時間を要しており、併せて推進計画

の検討を行っている。については、中間見直しに当たり、令和6年度初めには当審議会を開催し、ご協議をいただくことになるので、引き続き委員各位のご協力をお願いする。

- ・（協働まちづくり部長）委員の皆様から多くのご意見をいただき感謝申し上げます。令和6年度の事業推進において、意見等を考慮して取り組んでいきたい。議会での決定内容をお知らせする。昨年12月議会において、大船渡市スポーツ施設の一部を改正する条例が議決され、B&Gプールの廃止を決定している。それから施設の使用料の見直し作業に基づいて、令和6年4月から市営球場と弓道場の2つの施設の利用料金の一部の上限額を引き上げることが決定された。3月議会においては、令和6年度から令和10年度までの5年間、大船渡市のスポーツ施設等の指定管理者について、引き続き大船渡市スポーツ協会を指定することが議決されたので、お知らせする。当審議会の委員の皆様は、3月31日で満了となる。委員の皆様におかれては、在職2年間、豊富な知見と識見に基づいて、積極的にご意見ご助言等をいただき、当市のスポーツ振興にご尽力をいただいた。心から感謝を申し上げます。現在、令和6年度からの任期となる委員の推薦依頼を各種団体に行っている。併せて一般公募の委員の募集も市のHP等で行っている。

5 閉 会